

No.207

2025年
8月号

いなざわ 議会だより

| TOPICS

議会報告会を開催	2
臨時会・定例会の報告	6
議決結果	7
質疑・一般質問	8
9月定例会開催予定	16

稲沢市議会

検索



表紙：平和町須ヶ谷川の風鈴ストリーム

議会報告会を開催しました！



5月17日（土）に稲沢市勤労福祉会館において「議会報告会」を開催しました。悪天候のなかでの開催となりましたが、多くの方々にご参加いただきました。誠にありがとうございました。

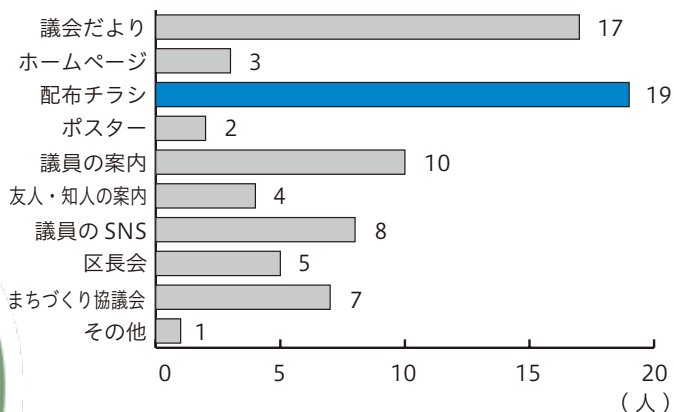
ここでは、議会報告会の様子をご紹介します。当日実施したアンケートの集計結果及び各常任委員会のまとめにつきましては、4～5ページをご覧ください。

なお、当日使用した資料及び報告書（各常任委員会のまとめ）につきましては、市議会のホームページからご覧いただけます。

議会だよりのチラシを配布しました！

議会報告会の開催を何で知りましたか？

（複数回答可）



5月9日（金）に
議会報告会の開催に向け、
市内の商業施設において
チラシを配布しました。

アンケートに回答いただいた49名の内、**約4割**の参加者が配布チラシをきっかけに議会報告会へ参加していただきました！
今後とも、多くの市民の皆様にご参加いただけるよう、広報活動に取り組んでまいります。

第1部 報告会

各常任委員会で、3月定例会において議決した令和7年度の主な新規・拡充事業の概要及び各委員会における主な関係議案について紹介をしました。また、1月に実施した行政視察の概要や、得られた知見を報告しました。



平床広報広聴委員長から開催趣旨等の説明

吉川議長から参加いただいた皆様への感謝の言葉とあいさつ



第2部 意見交換会

各常任委員会にわかれ、それぞれの委員会で設定したテーマに沿って意見を交わしました。以下、意見交換会でいただいた主なご意見を紹介いたします。

総務委員会

テーマ：安心安全なまちづくり

～特殊詐欺等の防犯対策や交通事故対策について～

- ・市民が安心して相談できる窓口があれば、特殊詐欺等の被害の減少につながると思う。
- ・消費者センターの機能強化等の改善をして欲しい。
- ・「安心安全なまちづくり大会」を毎年行っている地域もあるので、各種防犯団体への積極的なアプローチとサポートを通じて市民の防犯意識を高めて欲しい。
- ・交差点への危険な侵入を防止するため、安全対策に留意いただきたい。
- ・来年度のアジア競技大会に向け、交通渋滞や事故、防犯等の対策をして欲しい。



文教厚生委員会

テーマ：認知症当事者にやさしいまちづくり

～認知症カフェ等の拡充、当事者の生きがいについて～

- ・認知症カフェを各地区に設置して欲しい。
- ・認知症当事者が外出しやすい環境をつくりたい。
- ・稲沢市に認知症の方や高齢者が働ける場所をつくって欲しい。
- ・認知症予備軍の人に対するアプローチも必要ではないか。
- ・認知症カフェに関わらず、多世代が交流できる場所が増えると嬉しい。
- ・初めて利用する人でも参加しやすい環境づくりが必要だと思う。



経済建設委員会

テーマ：住みやすいまちづくり

～土地・住宅の未来について～

- ・地産地消の募集については農業者しか知らないと思う。大々的にPR、推進して欲しい。
- ・サリオパークを有効活用して欲しい。
- ・カレーフェスティバルをもっと盛り上げて欲しい。
- ・公共機関の充実や国府宮駅周辺の開発等を積極的に進めて欲しい。
- ・市街化区域の拡大を望む。
- ・かまどベンチなどの防災用品等を市民が実際に使えるようにして欲しい。

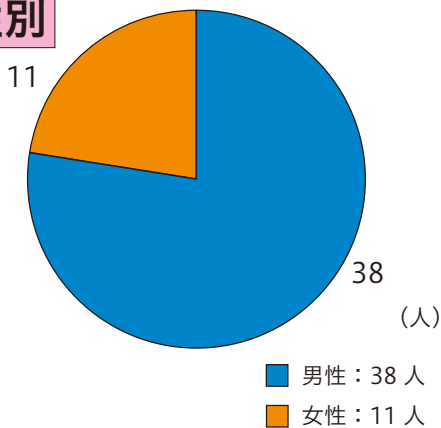


アンケート集計結果

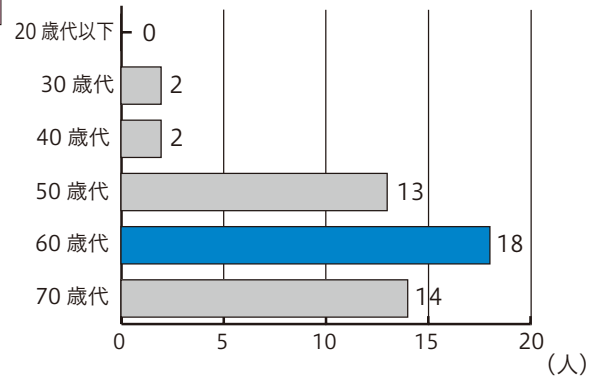
参加者数：62人

回答者数：49人

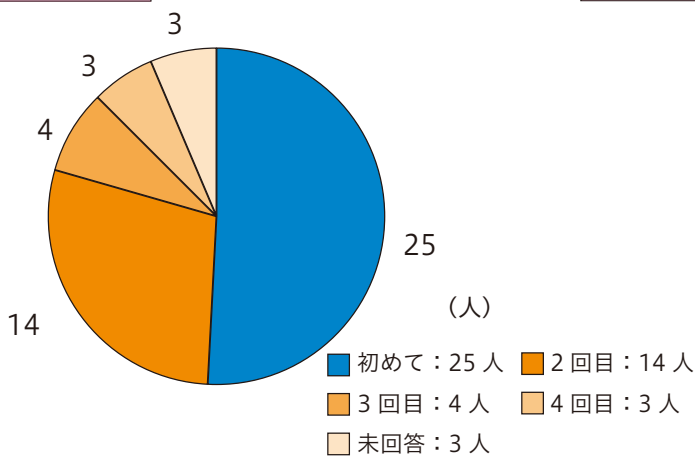
性別



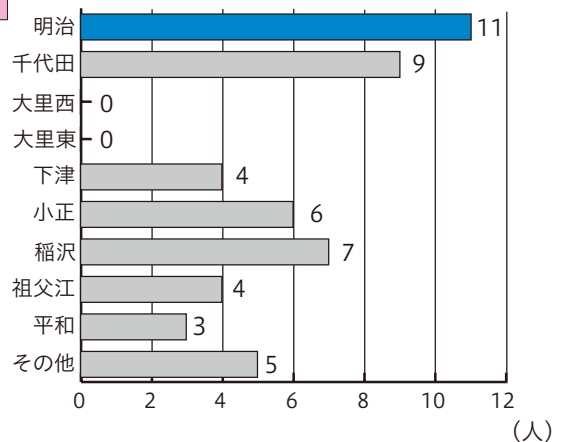
年齢



参加回数



住まい



広報広聴委員長あいさつ

今年度の議会報告会はあいにくの雨天となりましたが、多くの皆様にご参加いただきました。これも市議会に対する関心の高さと期待の表れであると感じております。身の引き締まる思いです。ありがとうございました。昨年、コロナ禍明け5年ぶりに開催した議会報告会でいただいたご意見や議員間での反省点を活かし、今回は、午前午後の2会場での実施から1会場に絞っての実施や各常任委員会からの報告方法の改善と周知を図るための広報活動や稲沢市議会ののぼり旗の制作などを行いました。その結果、昨年は2会場合わせて88名のご参加でしたが1会場で62名のご参加をいただき、うち初めての方は半数を超えていました。

しかしながら、ご参加いただいた皆様からのアンケートでは、第一部報告会の満足度は「良かった」「まあまあ良かった」合計72.5%、第二部意見交換会の満足度は同合計75.5%。次回の参加について「また参加したい」は67.3%でした。

こうした結果を踏まえて、皆様からいただきました市政、議会に関するご意見、ご要望を反映するべく、しっかりと活動してまいりますとともに、議会報告会の改善も続け、皆様と近い「稲沢市議会」となるよう広報広聴活動に努めてまいります。

平床 広報広聴委員長

第2部 意見交換会のまとめ

総務委員会

市民の皆様とともに「安心安全なまちづくり」をテーマに意見交換を行いました。特に近年増加する特殊詐欺や交通事故に対する具体的な対策について、さまざまな声が寄せられました。特殊詐欺では、ネット通販での詐欺被害や、警察・裁判所を装った電話詐欺の実例が報告され、年齢や性別を問わず誰もが被害者となり得る現実を共有することができ、参加者の方からは市民の防犯意識の向上のため、愛知県警公式アプリ「アイチポリス」で提供される情報を市が活用する提案などもありました。その他、市民の皆様が安心して相談できる窓口の整備や、消費生活センターの機能強化、また統計上、詐欺被害に遭いやすいとされる65歳以上の女性への啓発も重要であることなど、我々議員も今後の課題として再認識する事ができました。

交通安全面では、信号機の設置や横断歩道の整備、通学路の安全確保など多くの要望がありました。特に歩道の見通しを妨げる空き家からの樹木の管理等については、市の迅速な対応が求められています。また、来年度開催のアジア競技大会では本市のエントリオが会場のひとつとなります。市議会からも今後開催予定の各種イベントでの交通渋滞や事故の防止、防犯活動に向けての予算要望をして欲しいというお声もありました。

市民の皆様の声をもとに、今後も議会として安全・安心なまちづくりのため市に積極的に働きかけてまいります。最後に、当委員会の分科会へご参加いただき、貴重なご意見をいただきまして誠にありがとうございました。

文教厚生委員会

稲沢市議会において、認知症に関する一般質問が多く取り上げられており、昨年度の議員研修会においても、認知症に関する勉強会を実施した経緯もあることから、認知症を意見交換会のテーマとさせていただきます。

意見交換会においては、認知症カフェ等の運営者の参加もあり、認知症カフェの立上げや運営方法、補助金の活用などについての質問やご意見をいただきました。認知症の方、家族の方、認知症に関わる多くの方に参加いただくために、主催者の方が広報活動にも熱心に取り組んでおられるとのことでした。人が集まりやすい場所で開催することが大事ではないかとのご意見もありましたが、利用者がいなかったとしても定期的にカフェを開催することで、認知症に関する理解を深めることや担い手を確保することに繋がるとの貴重なご意見もありました。

また、現在、認知症カフェは市内に8か所ありますが、全地区にあるわけではありません。多くの方が気軽に利用できるように、認知症の活動団体を増やしていくことは、本市の今後の課題です。ご意見のあった、高齢者ふれあいサロンを有効に活用することも一つの対策だと考えます。

一方で、認知症の家族にとって、当事者を外に出すことへの抵抗があるのも事実です。認知症の方が仕事をしたり、外出しやすい環境づくりを求めるとのご意見もございました。

皆様よりいただきました、認知症カフェの予算の増額、認知症当事者の生きがいづくり、高齢者ふれあいサロン等の交流の場の活用、認知症カフェの宣伝広報の強化について、行政へ要望をしてみたいです。

最後に、認知症カフェの運営に関する議論が中心となり、認知症当事者の生きがいなどの議論が十分にできなかったことをお詫び申し上げます。ご参加いただき、貴重なご意見をいただきましたことに深く感謝を申し上げます。

経済建設委員会

「住みやすいまちづくり」をテーマに、市民の皆様と率直なご意見を交わすことができました。特に地産地消、土地利用、地域活性化、防災、そして生活環境に関する課題など、生活に直結する幅広い分野について多くのご意見をいただきありがとうございました。

地産地消については、「農業者への周知が足りない」「取り組みが小規模で中途半端」といった声があり、軽トラ市や地元農産物を活用したカレーイベントなどの取り組みについても、より積極的な広報や拡充を求められました。

土地利用では、小池・正明寺地区の市街化や耕作放棄地の増加に対する対応、産廃業者の進出による住環境悪化への不安など、地域の将来にかかわる切実な声が多く寄せられました。市街化調整区域の土地利用には法的制約があることを説明しつつ、今後も制度の周知と対話の充実を図っていきます。

また、防災かまどベンチの使用方法や個人宅の剪定枝処理への支援、道路・橋梁整備の遅れといった生活に密接した課題も提起されました。さらに、町内会加入への違和感や、若い世代が住みにくさを感じているとの声もあり、地域コミュニティのあり方や公共交通・インフラ整備の重要性を改めて認識しました。

今回の意見交換会では、市民の皆様から現場に根差した切実な声を多数いただきました。「暮らしに直結する」課題を、制度面・運用面の両面からしっかりと受け止め、経済建設委員会として政策提言につなげてまいります。

特に農業や土地利用、防災・環境整備の分野では、中長期的な視点での取り組み強化が必要です。市民の皆様を大切にし、「住みやすさ」の向上に一歩ずつつなげてまいります。

会議結果の報告

4月臨時会では、市長提出議案が3件、6月定例会では、市長提出議案が11件提出されました。議決結果は7ページをご覧ください。

ここでは6月定例会における一般会計補正予算の主なものを紹介します。

※万円未満切り捨て

令和7年6月定例会

6月9日～25日

議案第65号 令和7年度稲沢市一般会計補正予算(第1号)…補正額1,370万円

議案第72号 令和7年度稲沢市一般会計補正予算(第2号)…補正額1,192万円

議案第73号 令和7年度稲沢市一般会計補正予算(第3号)…補正額6,100万円

(これにより一般会計予算の総額は、595億1,662万円となりました)

井之口学校給食センターの給食運搬委託料の増額…528万円

配送時間の見直しに伴い、給食運搬車1台の増便により増額します。

大里中学校校庭貯留施設事業におけるポンプ施設の追加に伴う設計料の増額…250万円

排水方式を測量結果により自然排水方式からポンプ排水方式に変更したことに伴い増額します。

旧愛知県立稲沢東高等学校グラウンド開放に係る経費…162万円

閉校となった稲沢東高等学校跡地の方針が決定するまでの間、市内スポーツ団体に無償でグラウンドを開放します。

・対象者…市内に在住、在勤または在学する者10人以上で構成される団体で、教育委員会に登録されているもの

〈補正予算額〉

- ・施設整備工事費……80万円
(立水栓等の設置)
- ・仮設トイレ借上料……19万円
- ・事務費……………63万円



水道料金(基本料金)の免除に係る水道事業補助金…6,100万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰により影響を受けている市民や事業者に対して、経済的支援を図るため、水道料金の基本料金を令和7年9月請求分から10月請求分までの2か月間、半額免除します。

4月臨時会・6月定例会 議決結果

4月臨時会

議案番号	件名	議決結果
議案第63号	稲沢市税条例の一部を改正する条例について	全会一致 可決
同意案第6号	固定資産評価員の選任について 被選任者：大津伸二 氏	全会一致 同意

議案番号	件名	議決結果
議案第64号	稲沢市都市計画税条例の一部を改正する条例について	全会一致 可決

6月定例会

議案番号	件名	議決結果
議案第65号	令和7年度稲沢市一般会計補正予算（第1号）	全会一致 可決
議案第67号	稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数 可決
議案第69号	祖父江小学校長寿命化工事の請負契約の締結について	全会一致 可決
議案第71号	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）の物品供給契約の締結について	全会一致 可決
議案第73号	令和7年度稲沢市一般会計補正予算（第3号）	全会一致 可決

議案番号	件名	議決結果
議案第66号	稲沢市学生等医療費の助成に関する条例の制定について	全会一致 可決
議案第68号	大里東小学校改築工事（週休2日）の請負契約の締結について	全会一致 可決
議案第70号	山崎小学校長寿命化工事の請負契約の締結について	全会一致 可決
議案第72号	令和7年度稲沢市一般会計補正予算（第2号）	賛成多数 可決
議案第74号	令和7年度稲沢市水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致 可決

報告第2号	専決処分の報告について	—
報告第4号	令和6年度稲沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第6号	令和6年度稲沢市水道事業会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第8号	令和6年度稲沢市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第10号	令和6年度稲沢市土地開発公社決算の報告について	—
報告第12号	令和6年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業報告及び収支決算の報告について	—

報告第3号	令和6年度稲沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第5号	令和6年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第7号	令和6年度稲沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第9号	令和6年度稲沢市集落排水事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第11号	令和7年度稲沢市土地開発公社資金計画及び予算の報告について	—
報告第13号	令和7年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業計画及び収支予算の報告について	—

同意案第7号	稲沢市名誉市民の推挙について 被推挙者：久納昇辰 氏	全会一致 同意
--------	-------------------------------	------------

賛否が分かれた議案

	創生会												市民クラブ				公明党 稲沢市議団	日本共産党 稲沢市議団	会派に 属さない 議員							
議案番号	大野紀之	鵜野大助	土岐優子	平床健一	平野賀洋子	杉山太希	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	吉川隆之	木村喜信	六鹿順二	鈴木純子	岡野次男	志智央	木全信明	星野俊次	日比野貴子	朽本敏子	服部俊夫	曾我部博隆	小柳彩子	平野泰弘	山田崇夫
議案第 67 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第 72 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○

※吉川隆之議員は議長のため採決に加わりません

（○は賛成、●は反対）

市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、15人の議員が質疑・一般質問を行いました。

ここではその質問と答弁の一部を掲載しております。

なお、すべての質問については、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

15議員が登場

①黒田哲生 議員	②岡野次男 議員
③平野賀洋子 議員	④日比野貴子 議員
⑤鵜野大助 議員	⑥木全信明 議員
⑦服部俊夫 議員	⑧近藤治夫 議員
⑨山田崇夫 議員	⑩平野泰弘 議員
⑪朽本敏子 議員	⑫志智 央 議員
⑬曾我部博隆 議員	⑭小柳彩子 議員
⑮平床健一 議員	

※発言順



稲沢市民病院の 経営について

創生会
くろだ てつお
黒田 哲生 議員



Q 収入となる医業収益の令和6年度の決算見込みは。また、稲沢市民病院の令和6年度の純損益の見込みは。

A 令和6年度の医業収益の決算見込みは、対前年度比で3,800万円増の52億7,400万円となる見込みである。また、令和6年度の純損失は約13億8,000万円となる見込みである。

Q 病院への繰入金とはどのような性質のものか。また、一般会計繰入金の推移と令和7年度予算額は。

A 繰入金は、地方公営企業法に基づき、病院の経営に伴う収入をもって充てることが適当

でない経費などについて、一般会計から負担されている。繰入金額については、総務省の繰出基準に基づき、市財政部局と協議のうえ算定をしている。令和7年度予算額は13億1,800万円を計上しており、基準外繰入として新病院の用地取得費に係る企業債の元利償還金の2分の1である3,500万円を除き、全て基準内繰入となっている。

Q 現金預金について、令和6年度末までの推移と令和7年度以降の動きは。

A 令和4年度末で34億2,200万円、令和5年度末で35億9,500万円と増加したが、令和6年度末は18億8,500万円となった。令和7年度においても、令和6年度に引き続き医業費用の増加が見込まれることから、現金の増減には常に注意を払い、適切な運転資金の管理を進める必要がある。





産官民連携による ゼロカーボンシティの 実現について

市民クラブ
おかの つぎお
岡野 次男 議員



Q 行政区のリサイクル資源収集においては、資源の売却金とkg 当り3円の奨励金が各行政区に交付されている。金額の大きい資源とその金額は。

A 2024年度のリサイクル資源の各行政区への交付額の上位3品目は、1位ペットボトルで960万円、2位アルミ缶で750万円、3位新聞紙で730万円であった。

Q ミックスペーパー、ペットボトルの水平リサイクルの導入を機にリサイクルの拡大に努めていただきたい。ごみ分別アプリ「さんあ〜る」のお知らせ機能を活用してリサイ

クルの周知を強化してはどうか。現在の「さんあ〜る」の登録件数は。

A 2025年5月末現在の「さんあ〜る」の登録件数は5,342人である。

Q Jクレジット制度とは、省エネ・再エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量を現金化できる制度である。本市も取り組んではどうか。

A Jクレジットの導入については、民間事業者と連携することで市民にもPR できる効果的な取り組みと考える。本市としては、温室効果ガス排出量を2030年度に2013年度比46%に削減する目標を達成するために、まずは実効性の高い取り組みを優先させていくが、他市のJクレジット制度の取り組みの効果を注視しながら、検討を進めていく。



ごみ分別アプリ
「さんあ〜る」の
登録をお願いします。



旅券(パスポート) 発給窓口の設置に ついて

創生会
ひらの かよこ
平野 賀洋子 議員



Q 愛知県では旅券事務の市町村への権限移譲を行っており、一部の市町村ではパスポートの申請・受取の窓口が開設されている。本市は権限移譲を受けていないため、稲沢市民は旅券を新規で申請・更新する際には、名古屋駅などにある県窓口まで行く必要がある。過去の答弁では、開設するためには市民課窓口におけるスペース確保が課題とあったが、現在の検討状況は。

A 旅券発給窓口を開設する上で検討事項であった設置場所については、市民課周辺に開設できるよう現在検討している。開設時期については、令和9年度を目標に関係機関と調整を

進めている。

Q 旅券事務の権限移譲を受けた場合の具体的な事務内容は。また権限移譲した際に、市民が知っておくべきルールや条件等はどんなものがあるか。

A 旅券の申請は、大きく分けて「新規」と「更新」の手続きがあり、それぞれ「窓口申請」と「マイナポータルを利用した電子申請」がある。申請から交付までの期間は10日から12日で、市で申請した場合は、不備がないよう審査を行い、県旅券センターを経由し、国立印刷局で作成される。出来上がった旅券は、県旅券センターから送付され、市窓口で本人へ交付する。また、権限移譲後に手続きができる場所は、稲沢市民のみが利用できる本市の旅券窓口と県旅券センター窓口になるが、申請と交付は同じ窓口とする。





働く世代の心の健康を守ることにについて

公明党稲沢市議団
ひびの たかこ
日比野 貴子 議員



Q 平日の昼間に相談できない人向けに、夜間・休日対応の相談窓口情報はどのようなものがあるか。

A 愛知県の事業として、夜間、深夜帯にLINEで相談できる「あいちこころのサポート相談」や、年中無休で対応できる「あいちこころほっと365」、厚生労働省の相談事業として電話、SNS、メールによる「こころの耳」がある。

Q 男性の産後うつについて、情報提供はどのように行われているか。

A 保健センターで実施しているママパパ教室や、パパキッチンを開催した際に、健康教育の一

つとして、産後うつについてお伝えしている。

Q 多くの自治体が「こころの体温計」を利用している。他の誰かに相談する前に気軽にセルフチェックすることは大切だと考える。本市で導入する考えは。

A こころの健康を自己診断することができるアプリは、気軽に利用できるメリットがあるが、アプリの導入は有料であり、先行市の例を見ても、相談者数の増加や自殺者数の減少につながるかどうか検証することができないことから、現時点では導入について考えていない。



DX(デジタルトランスフォーメーション)推進について

創生会
うの だいすけ
鵜野 大助 議員



Q 本市では、市職員の業務効率化や、市民サービスの利便性向上の観点から、DX(デジタル技術による業務やサービスの改革)を推進しているが、職員向けの取り組み状況は。

A 令和2年度からRPA(業務自動化)の導入や令和4年度からAIによる自動文字起こしを活用している。また、新規採用職員向けの研修や、オンライン申請を拡充するためのLoGoフォームの操作研修、DX推進員の設置・育成等を行っている。

Q 市民向けサービスの向上に対する新たな施策は。

A 大規模災害が発生した際の建物等の認定調査を一元管理し、り災証明発行の迅速化や、より早く災害支援を実現するシステム、マイナンバーカードやQRコードによる、避難所での受付にかかる時間の短縮を図るシステムの導入を令和7年度に予定している。また、市民からの電話での問い合わせにおいて、用件に沿って番号を選択することで、簡単な質問は、自動音声で回答し、それ以外の質問のみを担当窓口に転送するシステムを令和8年度からの導入に向けて実証実験の準備を進めている。





三世代すまいる支援制度について

市民クラブ
きまた のぶあき
木全 信明 議員



Q 三世代すまいる支援制度の概要は。また、今回の改正内容は。

A 3年以上市内に在住する親世代と同居または隣居する小学生以下の子を有する子世帯の住宅新築費用に対し50万円を補助する制度である。今回の改正では、子世帯の要件に出生前の子を加えた。親世代が既に亡くなっている場合は、祖父母世帯を親世帯とみなす要件緩和を行った。

Q 同居だけでなく近居も対象と認めることで、子世代が本市へ転居するきっかけとなり、人口減少対策の手立てとなるのではないか。

A 近居は、同居・隣居とは異なり、子世帯が主体的に居住地を選択できるため、各世帯のプライバシーを確保しつつも、必要な時に支え合えるなど多くの利点があることから、近居を対象とすることは、人口減少対策にも一定の効果があると考えている。

Q 対象者を拡大することで定住促進施策の一翼を担えるようにしていただきたいと思うが、見解は。

A 本事業は、令和4年度の制度創設からこれまでの認定申請件数は111件となっており、好評をいただいている。これまでの実績や、市民のご意見を踏まえ、より多くの方にご利用いただけるよう令和8年度から新たに「近居」を加え、真の「定住促進支援」の一翼を担える事業を目指す。



物価高騰対策について

日本共産党稲沢市議団
はっとり としお
服部 俊夫 議員



Q 物価高騰のいま、市民全体への支援となるような水道料金の無料化をすすめるべきだ。稲沢市はこれまで基本料金の無料化も行ってきた。今回も検討されているか。

A 水道料金の基本料金の免除は、官公庁を除く全給水契約者を対象としているので、市民全体への支援になる。国からの重点支援地方交付金の追加額が示されたので、活用して支援できるよう検討していく。

Q 燃料や食料品などの物価高騰が続いている。政府の備蓄米の放出が行われているが、稲沢市として「お米購入補助券」などの発行は

検討できないか。

A 現在のところ、お米券の配布は予定していないが、物価高騰・消費喚起対策としてプレミアム付き「いなPAY商品券」を発行している。

Q プレミアム商品券の発行は3万セットで、これを超えた場合は抽選となる。スマートフォンを持っていることなど限定的となるプレミアム商品券ではなくて、お米購入補助券を全家庭に配布すべきではないか。

A プレミアム商品券は、お米のみでなく幅広い生活必需品の購入に活用いただけることから、すでに多くの方から申込みいただいている。





交通政策の現状と 今後について

創生会
こんどう はるお
近藤 治夫 議員



Q 稲沢おでかけタクシーの評価と市民の声の反映状況は。

A 年間利用件数は令和3年度48,385件から令和6年度62,986件と約30%増加し、利便性の高い制度として広く利用されている。また、市民の声を踏まえ、「一時的な立ち寄り利用の追加」、「予約受付時間の廃止」、「当日配車対応」、「妊産婦の有効期限延長」などの改善が行われている。

Q コミュニティバスで新設された「下津・大里線」の利用状況と評価は。

A 令和5年度9,774人から令和6年度12,291人

へと約25%増加した。市負担額も利用者1人あたり1,185円(令和7年4月実績)と基準値1,500円を下回っている。前回の路線の見直しで1日の運行便数が増え、利便性が良くなったと評価されている。また、現在「名鉄大里駅へのアクセス」について地域公共交通会議で協議を進めている。

Q コミュニティバスのデジタル活用の取り組み状況は。

A 令和6年10月から支線バスに交通系電子マネー決済を導入し、約16%の方に利用されている。現在、稲沢中央線ではスマートフォン等で運行状況を確認できるバスロケーションシステムを導入しており、今後は支線への導入も検討し、利便性の向上を図っていく。



スクールソーシャル ワーカーとスクール カウンセラーについて

やまだ たかお
山田 崇夫 議員



Q 昨年度まで3人いたスクールソーシャルワーカーが、今年度から2人削減されて1人になった理由は。

A 昨年度までの3人体制では、一人あたり週2日勤務であったため、学校現場から、「依頼したいときや保護者が面談したいときに日程調整が困難である」との声があった。そこで、1人で週5日の勤務にすることで、相談しやすい体制にした。

Q スクールソーシャルワーカーが担当する対象は、稲沢市内32校の児童生徒数およそ10,100人である。各校から1件ずつケースを

請け負うだけでも32ケースになる。1人で対応するには負荷が大きすぎると思うが、どのようにお考えか。

A 不登校、虐待、貧困、家庭環境など、各学校からの相談件数が増加していることは把握している。1人体制での実績や学校現場からの声を踏まえて、今後検討していく。

Q スクールソーシャルワーカーは本市に1人ということだが、病気、事故などで一定期間休職された時はどのように対応されるのか。

A スクールソーシャルワーカーが不在となった場合の対応としては、まずは関係機関との情報共有やフォロー体制を密にすることで、対応したいと考えている。





防災対策について

ひらの やすひろ
平野 泰弘 議員



Q 住宅の液状化対策補助金の創設は。

A 既設住宅の耐震化事業による耐震改修に伴う地盤改良工事が補助対象。

Q 浸水で孤立した方々の救命艇の配備状況、1艇あたりの乗船数は。

A 消防署、祖父江分署、平和分署計3艇、消防団には方面隊に計4艇、市内の水防倉庫に計5艇配備している。1艇あたりの乗船人数は3～6名である。

Q 独居高齢者や障がい児者の救助に備え、所在、薬剤情報、病歴はリスト化しているか。

A 避難要支援者について名簿を作成し、消防、警察などの避難支援関係者へ提出する外部提供同意書に、かかりつけ医や病歴等配慮してほしいことを記載いただくことで情報の共有を行っている。

Q 避難所となる小中学校の屋内運動場のバリアフリー化の整備状況は。

A 学校により設置状況が異なるが、スロープ、多目的トイレの設置を行い、車椅子対応の組み立て式仮設トイレの備蓄を行っている。

Q 避難所には、車中泊避難や在宅避難マニュアルはあるか。

A 今年度からの地域防災計画の見直しに併せ内容を精査する。



母親と子どもの幸せのための安心できる子育て支援について

公明党稲沢市議団
とちもと としこ
朽本 敏子 議員



Q 子育て支援への満足度が低い背景には、必要で望む支援が受けられていないためと思う。障がい児のおむつ補助について現行の病名の判断ではなく、医者がおむつの必要性を認めれば補助できるような制度改正にすべきではないか。

A 疾病名を限定せず給付している自治体が多くあった。真に支援を必要としている方に制度を利用していただけるよう、見直しに向けて前向きに進めていく。

Q リトルベビー（低出生体重児）の就学猶予に関しては実際の出生日でなく、出産予定日を

生まれた日とする修正月齢で検討できるようにしてほしいがどのようなか。

A 過去に年度をまたぐ修正月齢での就学猶予申請があり、認めたケースもある。今後も保護者の思いを尊重しながら、丁寧に教育相談を行い、慎重に判断していく。

Q 出産後に搾乳が必要な人がいることや、授乳室で搾乳を行うことへの理解が広がるような情報発信と、授乳室に「搾乳できます」マークの追加をお願いしたいがどのようなか。

A まずは市役所庁舎内の授乳室に「搾乳できます」マークを表示するとともに、市内公共施設の授乳室にも拡大を検討する。また、市ホームページやSNS等で授乳室を搾乳でも利用できる旨の周知を行い、搾乳に対する理解と環境整備が進むよう努める。





ハラスメント防止等、働きやすい職場環境づくりについて

市民クラブ
しち おう
志智 央 議員



Q 消防署で起きたハラスメントの問題を受け、昨年3月に防止委員会が立ち上がり、6月にヒアリングが開始されたが、防止委員会の委員が身内の職員に限定されていることを議会で問題提起し、弁護士と社会保険労務士が加えられた。その後、関係者らへの聞き取りが行われ、年内に事実認定、処分の公表が行われたが、関係者らへの聞き取りや事実認定、処分の検討などは、専門的な知識と経験が必要で、一職員が行うには限界があると感じる。また、職員同士での相談や調査では匿名性や中立性を担保することが難しいと思うが、見解は。

A ハラスメントの根絶と公益通報制度の適切な運用は、健全な組織運営に不可欠と考える。公益通報に該当するものは刑罰等につながる法令違反行為であることから、不正の早期発見が極めて重要であり、通報者の保護や厳正な調査、是正措置の実施を徹底しなければならない。現在、公益通報に該当するものはないが、受理した場合には、顧問弁護士に適切な判断を求めて対応する。ハラスメントに関する相談は、相談者やその周囲の職員が当事者であり、相談すること自体に心理的負担がある。議員提案の外部の相談窓口の設置は、相談者の負担を軽減することができる。とともに、市の財産である職員を守るためにも有効な手段であるため、実現に向けて取り組む。



生理用品を小中学校・公共施設に置くことについて

日本共産党稲沢市議団
そがべ ひろたか
曾我部 博隆 議員



Q 生理用品の無償提供はスコットランド、ニュージーランド、アメリカなど国際的な流れである。生理用品がないことは女性にとって日常生活・学校生活をともに営むことができない、人権問題である。本市で生理用品の整備がなぜ広がらないのか。

A 中学校では生理の貧困とは無関係な使用や、自宅に持ち帰る本来の目的と違った使用をされる問題もあり、現在トイレに常備しているのは2校である。また、公共施設のトイレに生理用品は設置していない。

用品を置いているところはあるか。また、問題が起こっているか。

A 生理用品を公共施設及び小中学校のトイレに常時設置している市町は6市町である。なお、公共施設に設置している市も一部の公共施設に限定している。無料で設置すると、必要以上に持って帰られることやトイレに流すなどのいたずらが考えられる。また、本市の小中学校における生理用品の設置場所については学校の判断で、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう配慮していく。



※他市の事例

Q 県内の公共施設や小中学校のトイレに生理



外国人の土地取得と 居住状況について

こやなぎ さやこ
小柳 彩子 議員



Q 本市では外国人または外国法人、外国人が役員
の会社が所有する土地はあるか。

A 令和7年1月1日時点で市内の土地を所有する
市内在住外国人は217名で、その面積は406
筆で82,880.62㎡である。外国法人、または
外国人が役員である会社が所有している土
地は、地方税法に基づく法務局からの通知に
法人役員等の国籍情報が含まれていないこ
とから、所有状況は把握できない。

Q 前回の一般質問で3人の外国人が農地を所有
していることが分かった。どのような経緯で
農地を取得したのか市で認識できているか。

A 課税台帳と精査したところ6人であることが
分かった。増えた3人は、いずれも市内在住
である。そのうち2人は、農地法第3条の規定
に基づき、農業委員会の許可を経て取得され
た。許可審査では、申請者が外国籍であるこ
とを在留カードや身分証明書等により確認
しており、農業に従事する意思及び能力、並
びに当該農地の継続的かつ適正な利用が見
込まれることを審査のうえ、許可を行っている。
また、取得の経緯や背景についても、審
査段階において把握している。なお、他の4
人は相続での取得である。



日常生活用具の給付 について

創生会
ひらとこ けんいち
平床 健一 議員



Q 令和7年度から日常生活用具給付事業の品目
に「自家発電機」と「外部バッテリーまたは
ポータブル電源」が追加されたが、その背景は。

A 障がいのある人が、地域で安心して暮らせる
よう協議されている地域自立支援協議会で
追加を要望する声や、市民から給付の対象に
なっているかとの問い合わせがあった。また、
毎年のように異常気象等による停電が各地
で発生しており、南海トラフ巨大地震もいつ
発生してもおかしくない状況の中、命を脅か
されることがないように、医療機器用に追加し
た。

Q 令和7年5月末現在の申請件数は。

A 申請はないが、引き続き制度の周知に努める。

Q 大規模災害時に電気の復旧の見込みが立た
ない状況において、ポータブルバッテリーが
なくなり、内蔵バッテリー頼みとなった際の
対応策はあるか。

A あらかじめ、複数の予備電源や手動式の機器
を準備いただくことは一つの手立てである
と考える。また、いざというときに頼れるよう、
平時から近くの医療機関等とつながりを作り、
ケアが必要な方がいる、ということを知って
おいていただくことなども必要である。



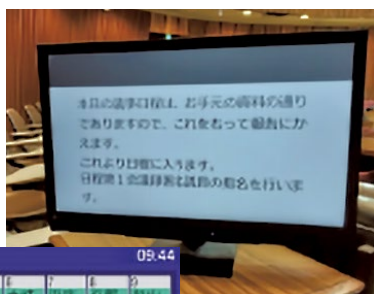
議場の音響映像 設備機器を更新しました

議場及び議員総会室の音響映像設備機器の老朽化に伴い、改修を行っています。

令和7年6月定例会から新機能として、本会議のインターネット(YouTube)でのライブ配信を開始しました。

その他にも、聴覚に不安のある傍聴者に向けた字幕表示システムの導入や、電子採決の導入など、より開かれた議会を目指し、多くの方に稲沢市議会に興味を持っていただきたいと思っています。ぜひ、傍聴にお越しください。

字幕表示
システム



投票受付中

09:44

1	小野 孝子	2	山田 孝子	3	大野 孝子	4	大野 孝子	5	大野 孝子	6	大野 孝子	7	大野 孝子	8	大野 孝子	9	大野 孝子	10	大野 孝子	11	大野 孝子	12	大野 孝子	13	大野 孝子	14	大野 孝子	15	大野 孝子	16	大野 孝子	17	大野 孝子	18	大野 孝子	19	大野 孝子	20	大野 孝子	21	大野 孝子	22	大野 孝子	23	大野 孝子	24	大野 孝子	25	大野 孝子	26	大野 孝子	27	大野 孝子	28	大野 孝子	29	大野 孝子	30	大野 孝子		
10	小野 孝子	11	山田 孝子	12	大野 孝子	13	大野 孝子	14	大野 孝子	15	大野 孝子	16	大野 孝子	17	大野 孝子	18	大野 孝子	19	大野 孝子	20	大野 孝子	21	大野 孝子	22	大野 孝子	23	大野 孝子	24	大野 孝子	25	大野 孝子	26	大野 孝子	27	大野 孝子	28	大野 孝子	29	大野 孝子	30	大野 孝子	31	大野 孝子	32	大野 孝子	33	大野 孝子	34	大野 孝子	35	大野 孝子	36	大野 孝子	37	大野 孝子	38	大野 孝子	39	大野 孝子	40	大野 孝子

賛成	23	反対	2	投票総数	25
----	----	----	---	------	----

白票	0
----	---

電子採決

議会のライブ配信を ご覧いただけます

本会議の映像をYouTubeにてライブ配信します。下記の二次元コードを読み取っていただくと、稲沢市議会公式チャンネルへ移行します。

ご視聴に際しては、稲沢市議会ホームページの議会ライブ配信(本会議)に記載のある注意(免責)事項をお読みいただき、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、一定期間アーカイブ配信を行っていますが、編集映像が出来上がりましたら、アーカイブは削除いたします。次回のライブ配信については、右記の日程で行いますので、是非ご覧ください。

また、過去の録画映像につきましては、引き続き、ホームページからご覧いただけます。



※稲沢市議会公式
チャンネル

次回の定例会は

9月8日(月)開会

質疑・一般質問

- ・9月11日(木)
- ・9月12日(金)
- ・9月16日(火)
- ・9月17日(水)(予備日)

常任委員会

- ・9月18日(木) 総務委員会
- ・9月19日(金) 文教厚生委員会
- ・9月22日(月) 経済建設委員会

閉会

- ・9月30日(火)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。(審議の妨げとならないように、携帯電話の電源を切り、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。)日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

議会だよりの作成方法が 新しくなりました。

以前まで業者委託していた細部の調整等についても広報広聴委員会で行います。

より見やすく、伝わる議会だよりを目指してまいりますので、引き続きご愛読いただけますよう、よろしくお願いします。

次回の議会だよりは令和7年11月
発行予定です。

発行/稲沢市議会

編集/広報広聴委員会

〒492-8269 稲沢市稲府町1

TEL 0587-32-1459

FAX 0587-32-1124

・問い合わせフォームについては
右記の二次元コードを読み取り



※お問い合わせ
フォーム

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。

